丹波篠山市
幼児教育コンセプトブック

丹波篠山市教育委員会




朝日とともに目覚め四季を感じながら
夢中になって遊ぶささやまっ子



丹波篠山の自然と出会い



自然とふれあい



季節の移り変わりの中で



人とふれあい



家族とともに



収穫をよろこび



あじわい



ながれる時のなかで









見て　聞いて　さわって　感じて



泣いて



笑って



あしたへ出発進行


自然と人、いのちの
つながりを感じる

たんばささやまが育ちの場



健康な心と体

ふ～っ



協同性

あなほって！
ちょっとずつね



おじいちゃん、
じょうず



社会生活との
関わり

丹波篠山は
みて、さわって、
心が豊かに



おねえちゃん、
次はわたしのばんね



わたしとどっちが
おおきい？



こんなに
みつけたよ！

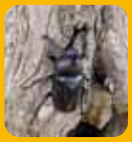
自然との関わり・
生命尊重

数量・図形、
文字等への
関心・感覚

わたしも
とってみよう

自立心





道徳性・規範意識の
芽生え



おおきな木に
にがしてあげたい

ほらほら、ここみて
えだまめついてるよ

自然が　育ちの場
かんじることで
なります

アイスクリーム
みたいやな

ほんまや！



豊かな感性と
表現

てが　むらさきに
なってきた～

思考力の
芽生え



とげとげ
いっぱいや～

しそっていいにおい
がするね～

言葉による
伝え合い



幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

ハルジオンとわたし、

どっちの せがたかい？

ハルジオンのかち！

つぎは、お花のつえにしよう！

《言葉による伝え合い》《豊かな感性と表現》※

ハルジオンに興味をもち、特徴や気付いたことを友だちと伝え合っている姿。友だちと一緒にハルジオンを遊びに取り入れることに楽しさを感じ、自然に関心を深めています。

※10の姿は、ひとつの遊びや生活シーンの中でも、複数の育ちの姿が総合的に見られます。



ハルジオンといっしょに遠足

よーし!!

オタマジャクシいっぱいとるぞ

にげられる〜

すーっと　すくったらとれるよ

とれた!!

《協同性》《自然との関わり・生命尊重》

命あるものに対して、自分で工夫して関わろうとしている姿。園児たちは、オタマジャクシの動きに合わせたり、友だちがしていることを模倣したりして、たくさんのオタマジャクシを捕まえました。園に帰ってからは、オタマジャクシの飼育の仕方を図鑑で調べたり、友だちと話し合ったりしていました。



地域にある自然にふれあおう

うわ くっさ～！

《自立心》《豊かな感性と表現》

　収穫したてのタマネギの刺激的なにおいに驚きながら、自分が育てたタマネギを体全体で感じている姿。友だちや先生といっしょに予想以上のにおいを楽しんでいました。



わたしの育てたタマネギは・・・

わぁ、つながってるやん!

どれどれ、みせて!

あっ かおみえた

ほんま? うわ、みえた!

《協同性》

なかなか繋がらなかったトンネルが貫通した瞬間、喜びと達成感を感じている姿。一緒に掘った友だちの顔が、小さな穴から見え、友だちと心もつながる体験をしています。



ともだちとつながった！

これ、あわのおふろみたいやな。

あわぶろや〜！

きもちいい!!

《豊かな感性と表現》

流れる川の水を”泡風呂”に見立てて遊ぶ姿。友だちと一緒に想像をふくらませながら遊んでいます。こんなにはしゃぐ自然体の2人の姿に自然の偉大さを感じます。



川の　おふろ

ここに ねころんでな
うえみたら まっきっきやねん。

ほんまや。
ほしが いっぱいみたい〜!

おつきさまが いっぱい みたいちゃう?
そうかなあ?

はっぱ おちてきた〜 きいろい あめや!

ほんまや!! きいろい あめや!

《豊かな感性と表現》《言葉による伝え合い》

紅葉したイチョウを見て想像力を膨らませながら話し合う2人の姿。星かな？月かな？と意見が合わない中、ひらひら落ちてくるイチョウを見て「黄色い雨や！」と共感します。2人のイメージがつながった瞬間。こんな自然体験の中で子どもたちは心を通わせていくのだろうなと感じます。



ふたりのイメージがつながった　瞬間

やきいもおいしかったなぁ。

うん おいしかった。

《社会生活との関わり》

　焼き芋大会を楽しみ、地域の方との交流を深めている姿。名残惜しく2人で、いつまでも座っている姿がほほえましかったです。



またね。



丹波篠山の自然の中で感じることの大切さ



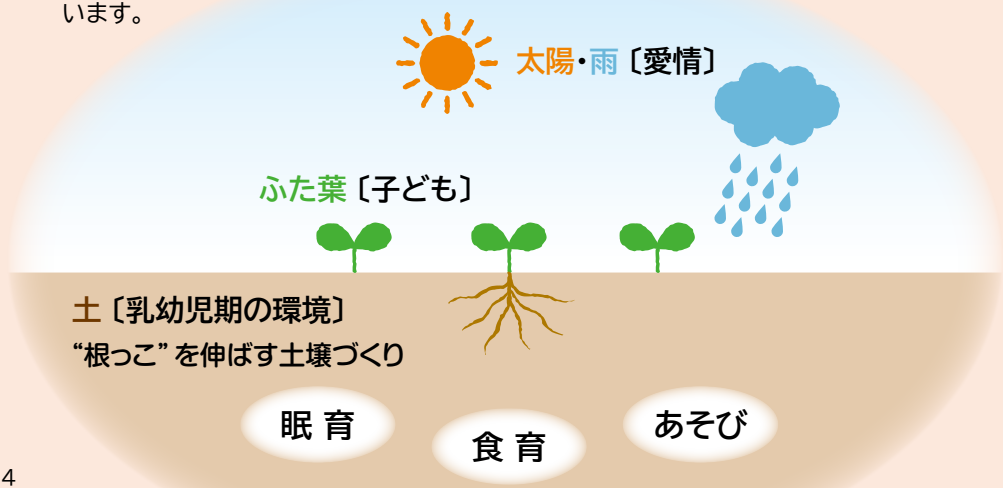
人を育む　すべての人に幸せを

子どもの根っこを育てる幼児教育の推進

たねをまき、小さなたねが、芽を出した姿を見ることは、だれにとってもうれしいものです。

丹波篠山市では、そうした植物の「ふた葉」や「根っこ」と同じように、乳幼児期の子どもたちの生きる力の土台となる“根っこ”を伸ばす時期を家族や地域の方とともに見守り、子どもたちの成長の喜びや楽しさを感じながら子育てできる環境を大切にしています。

根っこを伸ばすことの中には基本的な生活習慣の確立があり、中でも「睡眠」「食」「あそび」に着目し、子どもたちの自立を支援することにつながる幼児教育を展開しています。



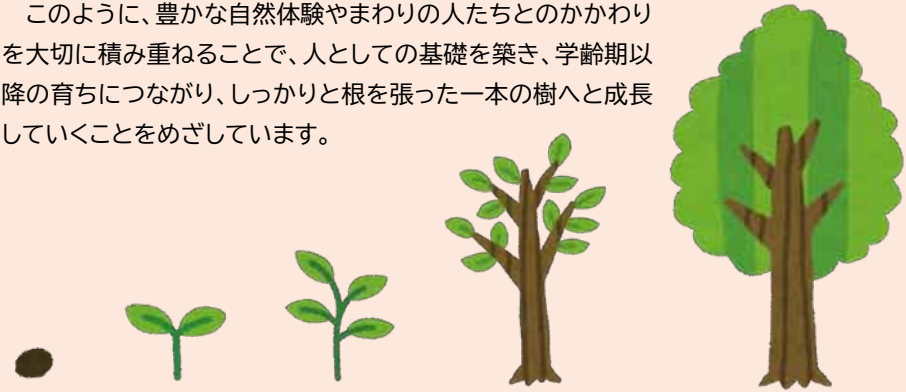


豊かな自然体験で「生きる力」を育みます

乳幼児期に豊かな自然を体全体で感じながら育つことは、丈夫な体はもちろんのこと、豊かな感性や社会性を培い、自己肯定感（自信）をも育みます。この時期の豊かな自然体験は、その後の「成長の土台」となる大変重要なものです。

自然の中で芽生える「不思議やなぁ」「できた！」という心を動かすわくわく体験や、「それでも何とかなる」「次は気をつけよう」という小さな失敗体験は、子どもの探究心やチャレンジ精神、想像力を伸ばし、達成感や次への意欲につながります。また、自然体験をきっかけとした家族やいろいろな人との関わりを通して、安心感や自己肯定感が育まれます。

このように、豊かな自然体験やまわりの人たちとのかかわりを大切に積み重ねることで、人としての基礎を築き、学齢期以降の育ちにつながり、しっかりと根を張った一本の樹へと成長していくことをめざしています。



乳幼児期　学齢期以降

“あそび”の環境づくり

「はる・なつ・あき・ふゆ あそぶっく」

丹波篠山市内の保育園・幼稚園・こども園での遊びの様子を紹介しています。

ふた葉プロジェクトPR動画

コンセプトブックの内容を4分30秒にまとめ、YouTubeで公開しています！

丹波篠山市幼児教育コンセプトブック
第1刷発行日　令和３年３月31日
第4刷発行日　令和８年７月３日　一部修正
編　集　丹波篠山市ふた葉プロジェクトチーム
発行者　丹波篠山市教育委員会

©2021ふた葉project

